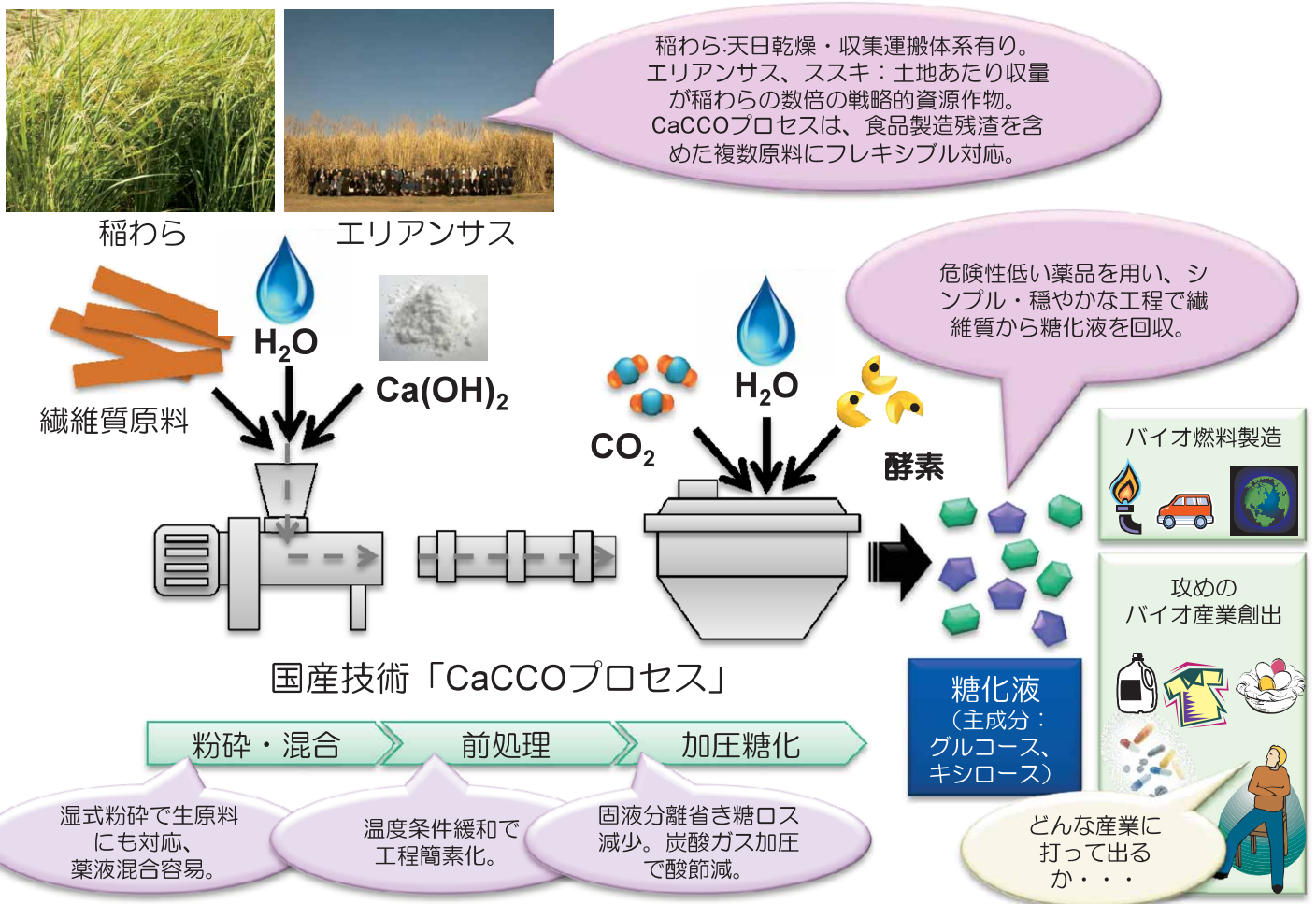


セルロース系バイオマス糖化液から新産業へ —CaCCOプロセスで攻めのバイオ産業創出—

技術の特徴

- ・稲わら、エリアンサス等を原料としたバイオエタノール製造前処理技術として、水酸化カルシウム処理後にCO₂中和を行う、シンプルな「**CaCCO (Calcium Capturing by Carbonation (CO₂), かつこ)プロセス**」を開発。CaCCOプロセスによる、地域の多様な繊維質原料等を用いた**糖化液の供給**は、環境負荷を抑えた燃料用エタノール製造に繋がるのみならず、様々な地域バイオ産業創出のために極めて重要となる。

研究の内容



今後の展開

- ・最も重要な酵素糖化効率化を加速するとともに、変換プロセスのみならず、原料生産、供給から有価物回収、廃液処理までの全プロセスを高度化し、地域変換システムを構築。
- ・地域の戦略的原料や発酵生産物に適合させるため、バイオマス変換技術実証ベンチプラントを活用し、CaCCOプロセスを改良高度化。地域特性に応じた多様なバイオ産業創出を支援。

参 考

本研究は、農林水産省委託研究プロジェクト「農山漁村におけるバイオ燃料生産基地創造のための技術開発」により実施。